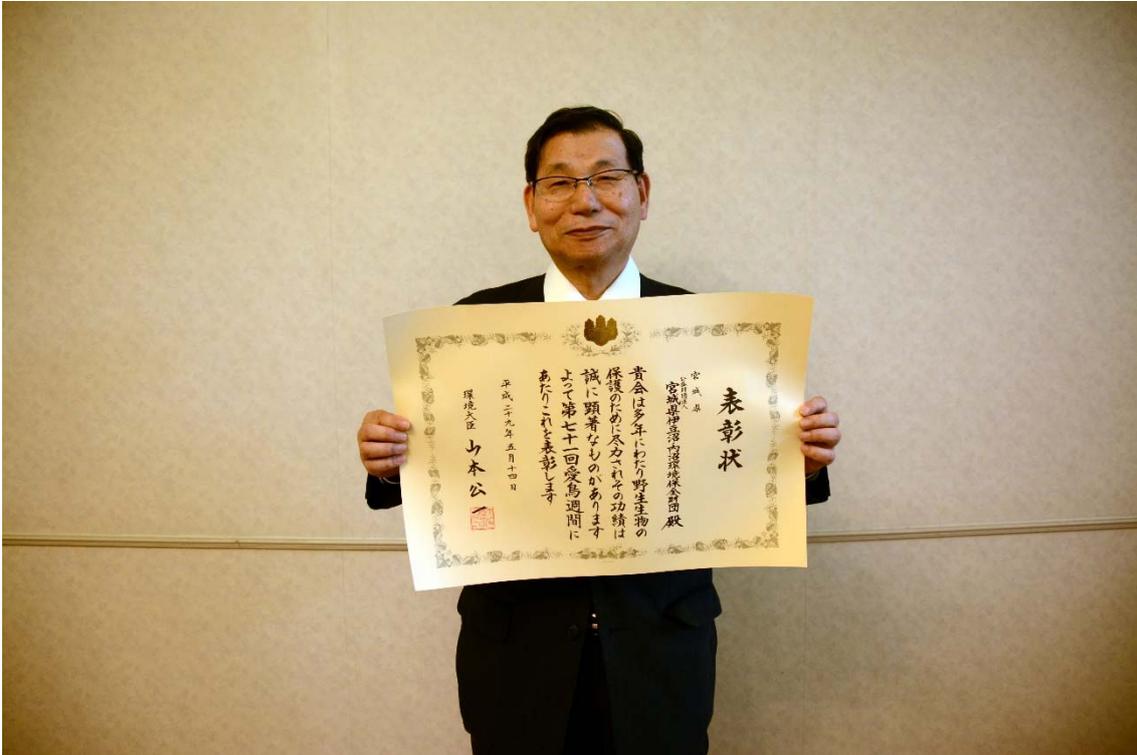


第 71 回愛鳥週間 平成 29 年度野生生物保護功労者表彰において 環境大臣賞を受賞しました！



野生生物保護功労者表彰（主催：環境省など）とは、野生生物保護思想の普及啓発、保護のための環境管理、生態調査、研究活動などに顕著な功績のあった方々を表彰するものです。財団は、今年度の表彰において、環境大臣賞を受賞しました。その受賞理由は下記の通りです。

- ・伊豆沼・内沼のラムサール湿地への登録当初より、県と連携して、沈水植物増殖・移植試験や水生生物適正管理等の自然再生事業に取り組んでいる。
- ・オオクチバス等外来魚の効果的な駆除方法「伊豆沼方式」を確立し、全国から注目されている。
- ・伊豆沼・内沼サンクチュアリーセンターを運営し、自然の紹介や研究の展示を行うなど普及啓発に貢献している。また、外来種の駆除や水鳥の営巣・採食場所の水生植物の植栽活動等をボランティアとともに行うことを推進している。

伊豆沼・内沼では、1960年代から地元に愛鳥団体や自然保護団体ができ、全国に先駆けて湿地の保全活動が始まりました。1982年の伊豆沼管理協議会発足、そして1988年の宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団の設立以降、長い年月にわたって沼の自然環境保全に取り組んできました。こうした取り組みは、財団だけではなく、地元の市民をはじめ、多くの保全団体、研究機関、行政機関の協力なしには達成しえないものです。今回の受賞は、財団だけでなく、沼にかかわる多くの皆様のご尽力に対する総合的な評価であると考えています。

伊豆沼・内沼は、国指定鳥獣保護区、国の天然記念物、ラムサール条約などの指定をはじめ、近年では東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップへの参画、重要湿地 500 への選定など、伊豆沼・内沼の重要性はますます高まっています。今回の受賞では、自然環境保全に対するさらなる発展をも期待されています。これからも、着実に伊豆沼・内沼の自然環境の保全に取り組んでいく所存です。

今後ともご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団